

岐阜県の プラスチック

岐阜県プラスチック工業組合会報

第76号

工業組合とデザイン協会の総会開く

大松理事長ら全役員を再選、青年部も役員改選

成形業界の『経営指標』がまとまる

特許料金など6月1日から改定

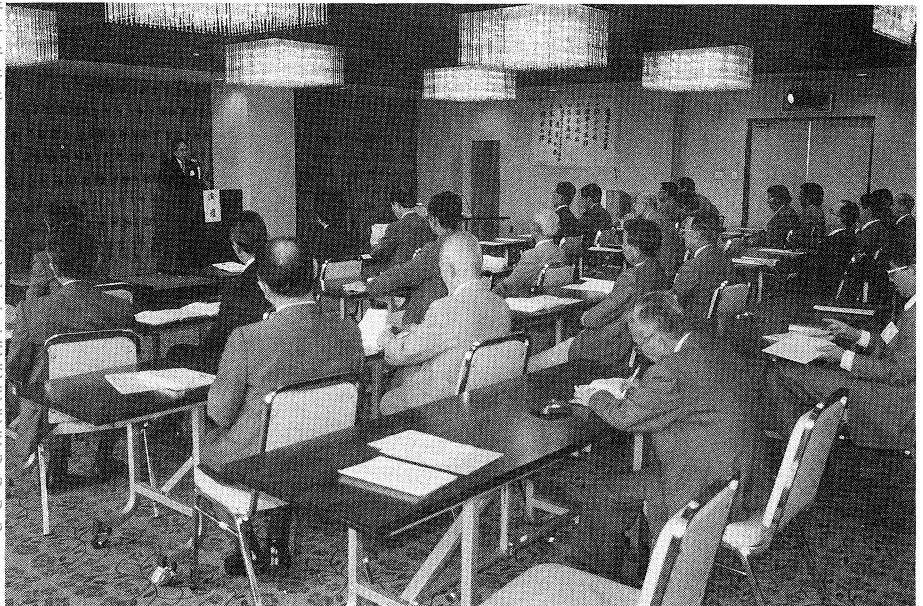
新製品を追う②

全国業界ニュース

デザインのすすめ

組合員の工場訪問

事務局だより



サ
ン
ド
ウ
ビ
ア
で
開
いた
第
19
回
通
常
総
会

創立20周年記念の準備へ

工組とデザイン協会の総会開く

大松理事長が協力を呼びかける

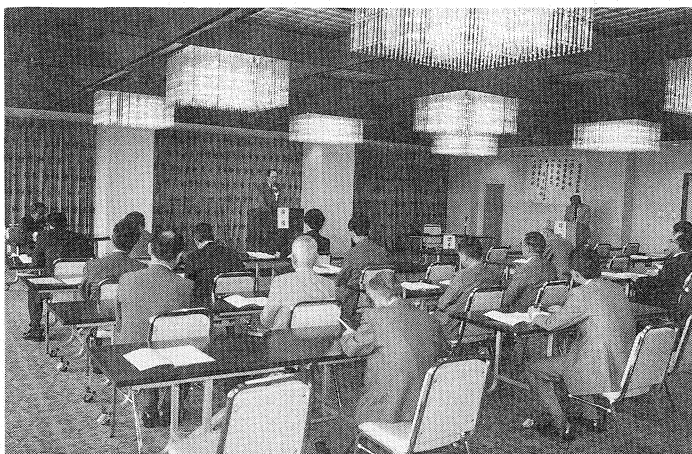
岐阜県プラスチック工業組合は、5月25日、岐阜市の西荘にあるサンピア岐阜で『第19回通常総会』と『プラスチックデザイン協会第25回通常総会』を開催した。工業組合の議題は①61年度の事業報告・収支決算案②62年度事業計画・収支予算案③任期満了による役員改選—など5議案。このうち事業計画では今年を『工組創立20周年記念・準備の年』とし、63年5月26日に予定する記念式典へ向け、準備を開始することにした。また、役員改選では、大松幸栄理事長はじめ理事12人、監事2人を再選した。

61年度予算など 全議案を可決する

工業組合の総会は、武藤副理事長の開会あいさつで始まり、大松理事長が『円高をはじめ最近の環境変化は激しく企業経営は日増しに難しくなっている。工業組合はこうした混沌とした時期に創立20周年を迎える。とかく環境変化の激しい時には、工業組合

のような業界団体の活動は先を見失いがちであるが、20周年を迎えるのを機会に使命をしっかり再認識し、組合運営の充実を図っていくことが大切ではないか。また、環境激変の中での新しい組合活動のあり方を探り、プラスチック業界の振興を図っていきたい』と創立記念を迎えるにあたっての心構えを述べた。

このあと議案審議に入り①61年度の事業報告と総額4,136万円にのぼる61年度決算②10項目にのぼる62年度事業計画と4,270



62年度の事業計画や予算を承認した総会

万円収支予算③62年度の賦課金および納入方法について—などの議案を原案どおり可決した。

このうち62年度の事業計画は①見学会など指導教育事業②情報提供事業③自動車ローン事業の拡大など共済事業と共同購買事業④金融事業⑤労働保険の事務委託など事務代行事業⑥調査研究事業⑦福利厚生事業⑧組合創立20周年記念事業実行委員会の運営⑨ぎふ中部未来博実行委員会の運営—などを予定している。

武藤場長が県の振興施策を説明

つづいて岐阜県プラスチックデザイン協会の第25回通常総会を開き、62年度の事業計画と予算を決めた。年間予算額は27万1千円で①デザイン講習会②デザイン関係資料配布、指導と研修会の開催③デザイン巡回指導などを計画している。

この後、来賓祝辞があり、武藤岐阜県工業技術センター場長は『先端技術分野を中心とする急速な技術革新の進展、需要の高度化に対応し

新製品の開発や製品の高付加価値化、新分野の開拓を一層促進する必要に迫られている。このため技術センターはコンピュータ支援による企画設計技術研究、地場産業高度化技術研究、円高対策技術などの重要プロジェクト研究に取り組むほか、新たに創造的技術者の養成をめざしORT（オン・ザ・リサーチ・トレーニング）事業などを内容とする技術パイオニア養成事業を推進する』と県がすすめる業界振興対策について説明した。

工業組合の新役員が決まる

大松理事長ら理事12人、監事2人

第19回通常総会の席上で行われた任期満了による工業組合の役員改選は、選考委員による推薦方法で行い、大松理事長をはじめ副理事長、理事、監事を再選した。選ばれた工業組合役員は次の各氏である。

〈理事長〉

大松幸栄（岐阜プラスチック工業㈱）

〈副理事長〉

大野繁俊（㈱東海ポリエチ工業所）

武藤昭三（ムトー精工㈱）

児玉庄一（コダマ樹脂工業㈱）

〈理事〉

田中弘一（岡田中化学工業所）

納土栄一郎（東和化成㈱）

福西紀雄（天龍工業㈱）

日比正隆（大垣プラスチック工業㈱）

吉田博司（美濃化学工業㈱）

酒井寛治（名古屋三光合成樹脂工業㈱岐阜工場）

加藤法康（日本工芸㈱）

加藤雄一（㈱加藤プラスチック製作所）

〈監事〉

林 光夫（関化成工業㈱）

篠田 哲（岐阜技研ポリマー㈱）



組合会報が優秀賞を受ける

工業組合が発行する会報『岐阜県のプラスチック』は中央会主催の第三回組合会報コンクールで優秀賞に選ばれた。発刊のキャリア、製作の優秀性、独創性が認められたため、さる五月の中央会総会で篠田事務局長が表彰状と記念品を受けた。

成形業界は円高影響で業績悪化へ

「岐阜県がまとめた『経営指標』でわかる」

岐阜県商工労働部は、このほど60年度中の経営実績をもとに調査分析した県内中小企業の『経営指標』をまとめた。調査対象となった中小企業は704企業で、業親別には建設業151企業、製造業553企業。製造業は10業種でプラスチック成形工業は21企業（射出成形専業9企業、その他のプラスチック加工業11企業）が調査対象になった。

調査の結果21企業のうち健全企業（営業利益及び経常利益がともに黒字の企業）は14社で残る7社は欠損企業であった。次は調査結果からみたプラスチック成形工業全体の収益性、健全性、生産性の概要である。（右はその経営指標）

納品価格下げられ営業利益ダウン

〈収益性〉 総合的な収益性を示す「経営資本対営業利益率」は9.6%から6.1%へ大きくダウンした。これは急激な円高により親企業からコストプッシュの要請をうけたため、近年にない低収益率となった。全国平均は7.1%であるから円高による被害の大きさがうかがえる。

内容的には「経営資本回転率」は1.9回と前年と変わらなかったが、57年度に記録した2.6回のレベルにはとても及ばない。

「売上高対営業利益率」は3.7%で、58年以来5%台を保ってきた水準から大きく下げた。全国平均4.4%より低い。61年から下げ始めた原料樹脂価格もこの年は高値にはりついたままで、製造コストは下がらず、逆に納品価格を下げられたため営業利益率は大きく下がった。

また「売上高総利益率」は16.1%で、それまでの20%台から大きく下げ、経営環境は悪化した。

固定資産額は前年度に比べて後退

〈健全性〉 まず、経営の安定性を示す最も重要な指標である「総資本対自己資本比率」は31.4%で、前年度の27.4%だったのに比べ

やや改善されてきた。しかし、全国平均の34.2%よりまだ低い。借り入れ資本は減少傾向にあるが、まだまだ要注意というところ。

「従業員一人当たり機械装備額」は190万円と固定資産額は前年度に比べ80万円余も後退している。一方、自己資本比率がそれほど改善されていないために「自己資本対固定資産比率」238.4%から416.6%が一段と大きくなっており、経営状態は悪化している。

流動比率は、前年度の148.1%から192.3%へ、当座比率は126.0%から160.0%へ共に上昇し、58年度当時に比べて改善され、望ましい状態となってきた。この数字は全国値を大きく上回っている。

一人当たり年間加工高大きく下る

〈生産性〉 生産性を「従業員一人当たり年間加工高」から見ると、933万3千円から837万1千円へと大きくダウンした。

一方、加工高対人件費比率は前年度の33.7%から37.4%へ3.7%上昇しており、あまりよくない。

このことは、従業員一人当たり年間加工高が後述のとおり大幅に増加したものの、従業員一人当たり月平均人件費の増加の度合い（前年度

17万3千5百円 → 22万6千4百円)が、平均人件費は59年度の22万6千4百円からそれ以上に基だしかつたことをしめしている。60年度の23万2千9百円とやや伸びた。全
 なお、労務面を見ると、従業員一人当たり月 国平均の27万円台に比べるとまだまだ低い。

岐阜県内のプラスチック成形加工業(21社)の経営指標

部門	コード	比率名	単位	全国平均		県平均		
				58年度	59年度	58年度	59年度	60年度
		集計企業数		94	104	19	16	20
		平均総資本	円			361,029	459,604	337,550
		平均従業員数	人	71	67	31	29	22
総合	1	経営資本対営業利益率	%	7.4	7.6	7.2	9.6	6.1
	2	経営資本回転率	回	1.9	1.9	1.6	1.9	1.9
	3	売上高対営業利益率	%	4.8	4.6	5.6	5.4	3.7
	4	自己資本対経常利益率	%	26.8	30.0	24.0	28.7	21.6
	5	総資本対経常利益率	%	8.2	8.4	7.7	10.0	6.6
財	6	自己資本対固定資産比率	%	146.0	151.9	198.8	238.4	414.6
	7	固定長期適合率	%	87.5	84.2	104.0	79.9	81.1
	8	流動比率	%	138.8	129.1	171.2	148.1	192.3
	9	当座比率	%	110.9	102.4	150.3	126.0	160.0
	10	総資本対自己資本比率	%	31.8	31.9	34.1	27.4	31.4
務	11	売上高対支払利息比率	%	1.6	1.6	1.1	0.8	1.0
	12	固定資産回転率	回	6.2	6.1	6.3	7.2	6.6
	13	受取勘定回転率	回	6.0	5.9	6.7	7.2	6.6
	14	支払勘定回転率	回	4.4	3.7	5.0	5.0	4.6
生産	15	従業員1人当り年間生産高	円	18,167	19,786	16,652	22,083	19,244
	16	従業員1人当り年間加工高	円	7,801	8,037	6,564	9,333	8,371
	17	加工高比率	%	42.9	40.6	50.6	53.2	56.1
	18	加工高対人件費比率	%	39.7	40.5	34.3	33.7	37.4
	19	機械投資効率	回	5.5	4.7	4.4	5.3	7.1
	20	原材料回転率	回	76.5	87.9	68.9	97.2	98.4
	21	仕掛品回転率	回	97.2	100.5	141.7	89.0	204.7
	22	製品回転率	回	56.1	59.3	105.3	139.6	127.0
販売	23	売上高対総利益率	%	19.5	20.3	20.3	21.9	16.1
	24	売上高対経常利益率	%	5.2	5.3	6.7	5.7	4.1
	25	販売・管理費比率	%	14.7	15.7	14.8	16.5	16.6
	26	販売費比率	%	5.2	6.3	5.5	6.6	6.2
	27	売上高対広告費比率	%	0.2	0.2	0.1	0.3	0.1
労務	28	従業員1人当り月平均人件費	円	258.2	271.1	173.5	226.4	232.9
	29	人件費対福利厚生費比率	%	10.1	9.5	5.8	8.7	10.4
	30	従業員1人当り機械装備額	円	1,419	1,704	2,482	2,715	1,909

講習会、研修会の開催を増やす

青年部も 総会開く 新会長に日比勝次氏を選ぶ

工業組合の青年部は4月11日、岐阜市内の宇を徳で開き、62年度事業計画、予算を決めた後、新役員を選んだ。

事業計画は、これまでより事業回数を増やし講習会、研修会や親睦をかねた見学会を実施していく。

役員改選では新部会長に日比勝次氏（大垣プラスチック工業）を選んだ。また、歴代の部会長を相談役とした。新役員は次の各氏。

- ▽相談役＝加藤法康（日本工芸㈱）
武藤幸平（㈱武藤化成工業所）
服部昭元（㈱服部樹脂）
- ▽会長＝日比勝次（大垣プラスチック工業㈱）
- ▽副会長＝佐藤勇雄（岐阜化成㈱）
長谷典雄（信和工業㈱）
- ▽委員＝小川邦夫（岐阜岐研ポリマー㈱）
吉田健司（美濃化学工業㈱）
川瀬忠雄（川瀬樹脂工業）
- ▽監査委員＝真鍋宏義（厚見プラスチック工業㈱）

加藤輝彦（㈱加藤プラスチック製作所）

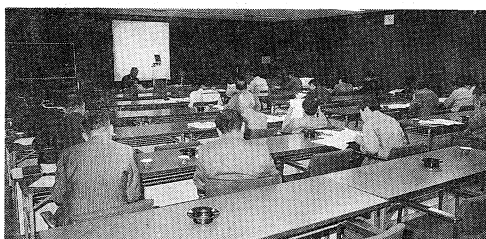
電気用品の品質保証を行う

成形工場登録制度の説明会

当工業組合と全日本プラスチック成形工業連合会は、4月7日、産業会館で『電気用品モルダ登録制度』についての説明会を開いた。

この制度は、電気用品に使用される成形品の製品工場登録制度で、製造工場を全日本プラスチック成形工業連合会に登録し、材料の使用実態を自主的に管理していくことにより、電気用品製造業者への供給成形品についての責任体制と品質保証を行うもの。

詳細は工業組合の事務局まで連絡を。



電気用品モルダ登録制度の説明会

TOSHIBA

東芝機械株式会社

本社 東京都中央区銀座4丁目2-11
名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4丁目7番23号
化工機課 TEL <052> 561-8341

特許料金など6月1日から改定

特許庁は6月1日から特許法、実用新案法、意匠法、商標法等に定められた特許料及び登録

料並びに手数料を改定した。

特許、実用新案、意匠登録、商標の新しい出願・審査請求手数料、特許料、登録料金は一覧表のとおりである。

区 分	手 数	料
出 願 ・ 審 査 請 求	特許願	14,000円
	特許法第184条の5第1項の規定による手続	14,000円
	特許法第184条の16第1項の規定による申出	14,000円
	特許出願審査請求 (特許庁が国際調査報告を作成した国際特許出願)	50,000円+(発明の数×8,000円)
	(特許庁以外が国際調査報告を作成した国際特許出願)	10,000円+(発明の数×1,600円)
	(特許庁以外が国際調査報告を作成した国際特許出願)	40,000円+(発明の数×6,400円)
	実用新案登録願	11,000円
	実用新案法第48条の5第1項の規定による手続	11,000円
	実用新案法第48条の14第1項の規定による申出	11,000円
	実用新案登録出願審査請求 (特許庁が国際調査報告を作成した国際実用新案登録出願)	32,000円 6,400円
(特許庁以外が国際調査報告を作成した国際実用新案登録出願)	26,000円	
意匠登録願	13,000円(類似意匠登録願	6,500円)
秘密意匠の請求	4,100円(類似意匠の秘密の請求	2,100円)
商標(又は防護標章)登録願		17,000円
連合商標登録願		34,000円
商標権(又は防護標章登録に基づく権利)存続期間更新登録願		17,000円
(1) 特許料		
第1年から第3年まで	毎年5,000円に1発明につき	毎年5,300円を加えた額
第4年から第6年まで	毎年8,000円に1発明につき	毎年8,000円を加えた額
第7年から第9年まで	毎年16,000円に1発明につき	毎年16,000円を加えた額
第10年から第12年まで	毎年32,000円に1発明につき	毎年32,000円を加えた額
第13年から第15年まで	毎年64,000円に1発明につき	毎年64,000円を加えた額
追加特許の場合(1発明につき)		
第1年から第3年まで		毎年5,300円
第4年から第6年まで		毎年8,000円
第7年から第9年まで		毎年16,000円
第10年から第12年まで		毎年32,000円
第13年から第15年まで		毎年64,000円
(2) 実用新案登録料		
第1年から第3年まで		毎年6,800円
第4年から第6年まで		毎年13,500円
第7年から第10年まで		毎年27,000円
(3) 意匠登録料		
第1年から第3年まで		毎年6,800円
第4年から第10年まで		毎年13,500円
第11年から第15年まで		毎年27,000円
類似意匠の場合		6,800円
(4) 商標登録料(防護標章も同じ)		53,000円
商標権存続期間更新登録料(防護標章登録に基づく権利も同じ)		100,000円

金属そっくりの樹脂を開発

ダイカストに代わる新素材

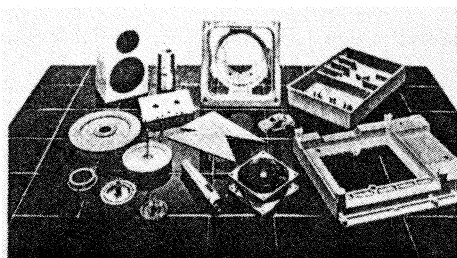
カルプ工業（本社・東京、出光石油化学とライオンの合弁会社）は超高比重複合材『カルプHGシリーズ』を発売開始し、大きな反響を呼んでいる。超高比重複合材とは、金属そっくりのプラスチック複合材のこと。プラスチックは軽い反面、安っぽく見える。これに対し金属の良さは重量感と強度はあるが、成形が難しい。双方の良さを合わせ持った複合材を作れば—というのが開発のねらいであった。

樹脂分が二割であとは特殊金属

カルプHGシリーズは、汎用樹脂及びエンブラ系樹脂（ナイロン系、ポリアセタール系、ポリエステル系）と特殊金属（鉄、ステンレス、亜鉛、銅の単体及び合金）を組み合わせた。

複合材は樹脂分が二割、あとは金属分。開発に当たって、この金属分をどうつなぎ合わせて成形品にするか、バインダーがどこまで役目を果たすかが開発のポイントであったという。

HGシリーズにはグレードが四つあって、導電性、絶縁性、耐熱性（210℃まで）高強度などの特徴をもつ。比重はアルミと同じ2.75



新素材で作った新製品

から4.05。一般の樹脂は1.05ぐらいだからかなり重い。メッキをすれば外観上、金属とはほとんど見分けがつかないという。

利点は、射出成形ができて、機械加工や二次加工がいらぬから、バリ取り、切削加工、ネジ穴加工、防錆加工などの工程を省略できる。価格はアルミダイカストの原料単価より高いが工程が少なくてすむため、トータルで半分から三分の一ですむ。

用途は無限、コスト削減に魅力

用途はダイカスト製品に代わる新素材として無限に考えられる。すでにフライホイール、ギヤー類、シャーシ、玩具、装飾品、遮音材、制振材などに利用されている。

今後の開発のねらいは、比重を亜鉛や鉄に近付けることだというコスト削減に知恵をしぼるメーカーにとって魅力は大きい。

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX®

PBT樹脂

NOVADUR

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン

NOVATEC

高圧ポリエチレン

NOVATEC-L



三菱化成工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6111(大代表) [千100]

デザインのすすめ

岐阜県プラスチックデザイン協会

ビジネスとしてのデザイン

多くの企業にとって、デザインはGマーク商品としてのラベルの獲得や有名デザイナーの起用による製品開発を目標にしているのではなく「何かをより売りたい」とする時の道具であったり、戦略の1つでしかない。

また、それだからこそ企業にとってデザインが重要になっているともいえる。

では、どのような時、どのようなデザインの機能やデザイナーの能力を、企業のビジネス戦略として組み立てていけばよいのだろうか。

デザインがビジネスの中で対処できるとすれば、次のような事が基本的なものとして考えられる。

- ① 企業努力や技術など、一般に見えにくいものを、視覚化させる。

これは、製品のメカニズム部分から、企業ポリシーに至るまで、一般に見えにくいとされる部分をどのようにしたら見える部分に反映させることができるか、といった時のもの。(マーク・ロゴ・品質など)

- ② デザイナーと美的感覚の権威
色や形、材料について、開発会議の場で

は強硬な対立意見が発生することがよくある。立場の違い、トップの意見重視など、その内容は様々だが、こうした時にデザイナーの意見がどの程度きけるかにかかっている。(スタイリング、カラー計画など)

- ③ ターゲットに適応させる

単に美しく、品質がいいというのではなく、ニーズがどこにあるか、又そのニーズがどのようなものであるかを確認し、そのターゲットの環境に適応させることのできる人の技量によって開発する。

そのため、最近では市場調査が繰り返され、消費者参加の製品開発までなされるようになっている。(好み、価格など)

- ④ 市場の競争上での位置を明白にさせる

多くの製品は、共通化と差別化という相反する2つの概念の微妙なバランスのとりかたに苦しみながら、市場でのコスト競争からの脱出を願っているが、このバランスの調整のため、自社製品の市場での位置付けを明白にさせる。(改良、改善点など)

以上の4つが、デザインのビジネス上での機能であり、これらに対処できる人材をまず育成しなければならない。

フリーのデザイナーも、こうしたことのために努力しているはずである。

出光

の石油化学製品

◎取扱品目

ポリスチレン

低密度ポリエチレン

高密度ポリエチレン

ポリプロピレン

カルブ®

ポリカーボネート



出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111

名古屋支店 名古屋市中区栄2丁目1番1号(日土地名古屋ビル5F) 〒460 ☎ 052-231-8611

特許技術生かし保温弁当箱も生産

大垣プラスチック工業

組合員の工場訪問は、この4月に工業組合青年部の新部長に就任した日比勝次さんの経営する大垣プラスチック工業を訪問した。工場は岐阜と大垣を結ぶ大動脈・岐大バイパスを北へ約1km入った大垣市大島町2丁目の田園地帯にある。その一角、約八千㎡の用地に成形工場、仕上工場、機械工場、倉庫それに事務所が立ち並んでいる。

珍しい“後継者グループ”が育つ

事務所に日比さんを訪ねると『工場は十年、十五年前と少しも変わりませんよ。成形機などの機械類を更新したのと、精工技術部の工場を拡張したぐらいです。社長の堅実一途の経営方針を貫いているからです』と話しかける。

社長は工業組合の理事、日比正隆さん。この日比さんには事務員として働く三人の娘さんがおり、長女の養子として婿入りしたのが勝次さ

ん。それだけなら別に珍しくないが、二女には健郎さん、三女には正雄さんが婿入りして日比の姓を名乗り、取締役として経営に参画している。つまり日比社長のもとに婿、娘、計六人の珍しい経営グループが誕生したことになる。

“自分の城は自分で守れ”という諺があるが中小企業を取り巻く悪環境が続くなか、勝次さんを中心とする後継者グループは、日比社長がとった“背水の陣”でもある。

大垣プラスチックは昭和29年、現社長が明治からつづいた敷物加工販売店を止め、高周波加工によるビニール製品（雨具など）の製造販売工場を設立したのが始まり。昭和32年には樹脂製の業務用食器を製造開始し、以来30年全国屈指のメーカーとなった。

横の連携育て業界危機に備える

製品は年々増え業務用、学校用の弁当箱から食器、ランチトレイ、メラミンやポリプロピレン製の各種食器など。近年は漆器類を自社加工したり、特許技術を生かして保温弁当箱を生産するなど話題は多い。

プラスチック加工業界もいまや創業者から、その二世へと世代交替期に入っている。それだけに組合青年部の活躍が期待される。

日比さんは『この低成長時代、横の連携を取って仲間意識を育てることですよ。業界の団結は、業界に何かあった、いざ、という時に価値を生ずるのだと思う』と部長就任の



『仲間意識を育てたい』と話す青年部新部長の日比勝次さん 抱負を話した。

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□創立記念・準備の年、協力下さい□

本年度の新事業計画や予算を決める工業組合総会は、さる5月25日、サンピア岐阜で開き提出した全議案を可決してもらいました。総会記事で紹介しましたように、明年は創立満20周年を迎えます。今年はその輝かしい記念の年の前年にあたります。このため本年は『創立記念・準備の年』として、種々の記念行事を企画立案していきます。組合員のみなさんご協力をお願いします。

□第二電電への申し込みは6月中に□

組合では、第二電電と業務提携し、市外電話サービスの利用申し込みを受け付けています。サービスの要点は①今秋から関東、京阪神などとの市外通話（FAX、データ通信を含む）に利用でき、現行のNTTより二、三割料金が安くなる②初期費用は一回線当たり2,000円で、これ以外の費用はいりません③現在の電話機がそのまま使える④利用方法は相手番号の前に0077を回すだけでつながる—などで、メリットには大きなものがあります。利用希望は6月



総会後の記念パーティー

中に組合へ申し込んでください。

□お買い徳商品『防錆剤』『作動油』□

組合の共同購買事業として『離型剤』『防錆剤』『作動油』『スライドラック』の購入斡旋をしております。工場の作業環境改善機器として、『工場扇』『スポットエアコン』『電子レンジ』などもあります。また、家庭医薬品の斡旋もしております。ご利用ください。

岐阜県のプラスチック 1987 76号

昭和62年6月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号
(岐阜産業会館4階)

電話 (0582) 72-7173

FAX (0582) 76-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松幸栄

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友®TPE

合成ゴムSBR

住友®SBR

合成ゴムEPR

エスプレン®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店

〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)

電話 <052> 201-7571



ニーズに**適確に**
こたえることで
未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたっては、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

信越ポリマー

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)



信越シリコーンなら

では、**離れ技**。

信越シリコーン 離型剤

プラスチックの離型に最適な離型剤をご紹介します。

信越シリコーン離型剤。熱に強く、化学的に不活性ですから、型や成形材料を汚したり、傷めたりする心配がありません。不良品の発生を防ぐばかりか、清掃などの労力が軽減できますので、作業能率も一段と向上します。

〈特長〉

- 少量の塗布ですぐれた離型性。
- 耐熱性、撥水性にすぐれています。
- 化学的に不活性ですべて、型を侵しません。
- 複雑な型にも使えます。
- 品種が豊富です。



信越シリコーン

信越化学 / 名古屋支店
名古屋市中村区名駅4-27-23(新名古屋ビル東館)
TEL(052) 581-6511(代)

時代への先射

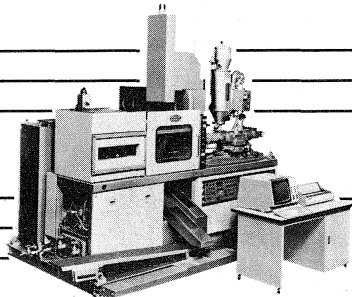
プラスチック射出成形専門技術で確かな明日に貢献します。

コンタクトレンズから人工心臓まで
医療に役立つプラスチック

高度情報化社会の推進者、
エレクトロニクス&プラスチック

プラスチックが貢献する
ニューメディアの実用化

未来の交通を変える
軽くて強いプラスチック



高精度で小型、軽量、そして低コスト…すでに当り前となったエレクトロニクス製品。これらを可能とした背景にプラスチックは欠かせません。しかも、ニューメディア、バイオテクノロジーなど、今後社会を主導する分野では、ますます精度の高いプラスチック製品が求められてきます。射出成形機の専門メーカーとして実績を誇る日精樹脂は、信頼性の高い射出成形機、マイコンをいち早く導入した制御システム、総合的なシステム成形など、先進の技術で常にプラスチック業界の要望を叶えています。より深い専門技術とより広い応用技術で、今後もプラスチックの新しい利用価値を提供してまいります。

今日の課題を解決し明日の可能性を拓く

テクニカルセンター

充実したデータ処理システムや計測機器を完備したテクニカルセンター
成形品の試験や7/7技術開発を行うとともに、顧客の立会試験にも利用されています。

NISSEI 精密射出成形機・世界のトップメーカー
日精樹脂工業株式会社

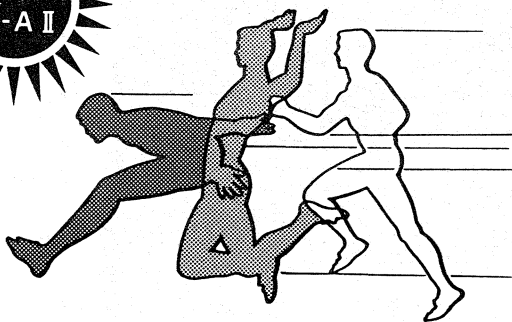
岐阜出張所 〒500 岐阜県岐阜市西部寺屋敷3-40番ビルF ☎(0582)72-5952
本社・工場 〒389-06 長野県坂城町 ☎(0268)82-3000(大代表)
営業所 東京/大阪/名古屋/長野
出張所 全国34ヶ所 海外サービスステーション25ヶ所(21ヶ国)



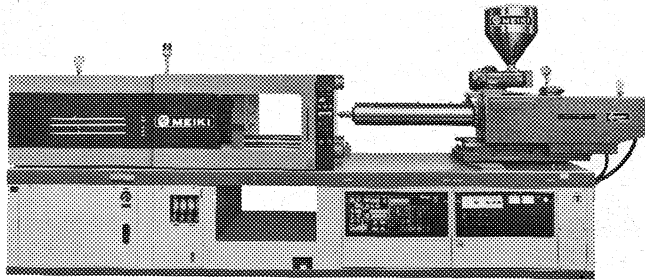
ホップ ステップ

ジャンプ

機能倍増・デザイン一新



- サイクル精密アップ
- F A 化へステップ
- 品質向上・省エネ化
- 人間第一の操作と安全性



M-150A II L-DM

株式会社 名機製作所

〒474 愛知県大府市北崎町大根2
☎<0562> 48-2111(代)
東京支店 ☎<03> 221-7731(代)
中部支店 ☎<0562> 47-2391(代)
大阪支店 ☎<06> 386-2151(代)
関東営業所 ☎<0284> 91-0816(代)
北陸営業所 ☎<0766> 24-1012(代)
静岡営業所 ☎<0542> 57-0312(代)
広島営業所 ☎<082> 283-7941(代)
九州営業所 ☎<092> 863-7197(代)

染料 }
工業薬品 } 販売
合成樹脂 }

山田化成株式会社

取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号
TEL (03) 256-7861(代)
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)
TEL (052) 961-6591(代)

UL・94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

JSR NF94
JSR NC100



日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL(03)541-4111・名古屋支店/TEL(052)571-1231

発見と発明

ゆたかな生活環境をフリエイト

MMA部門を中心として、時代のニーズに合った
発見と発明を...



“発見”されたモノを日常生活に使用できるように研究開発することが“発明”です。人類にとって新しく“発見”されたエネルギー“天然ガス”を原料に「高品質素材の総合開発」をテーマに、“発明”を続ける協和ガス化学工業。メタクリル一貫生産メーカーとして、常に“より良いもの”を求め続けています。

メタクリル樹脂・注型板

ペラガラス[®]

メタクリル樹脂・押出板

ゴモガラス

メタクリル樹脂・成形材料

ペラペット[®]



協和ガス化学工業株式会社

本社 〒103 東京都中央区日本橋3-8-2新日本橋ビル ☎(03)277-3174
大阪事務所 ☎(06)345-3901 / 名古屋営業所 ☎(052)951-6396
福岡営業所 ☎(092)711-1530 / 仙台営業所 ☎(022)66-1525



生きてる素材。

三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

アクリライト[®]

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

アクリペット[®]

ABS樹脂

ダイヤペット[®] **ABS**

三菱レイヨン

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711



リスのプラスチック



今、新しい テーブルウェアの たび だち 出発。

ノーブル(英語)とは“高貴”という意味、その名にふさわしいテーブルウェアとして、リスの一貫したデザインポリシーから生まれたメタクリル樹脂の最高級品です。

リス
Noble
ノーブル

岐阜プラスチック工業株式会社

本社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)
支店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮